

3 6 カラマツ間伐材利用の一考察

岩泉営林署 ○ 中野 雅幸
天杉 国夫
中村 俊弘

1 はじめに

我が国のカラマツは日本特産の優秀な樹種であり、外国へ渡り人工造林として成功している木としては我が国唯一のものである。

本州の東北、特に岩手県ではどこにでもあるカラマツはよれる、ヤニが出る、売っても安い木といわれもうカラマツは植えるな、とまで言われている。

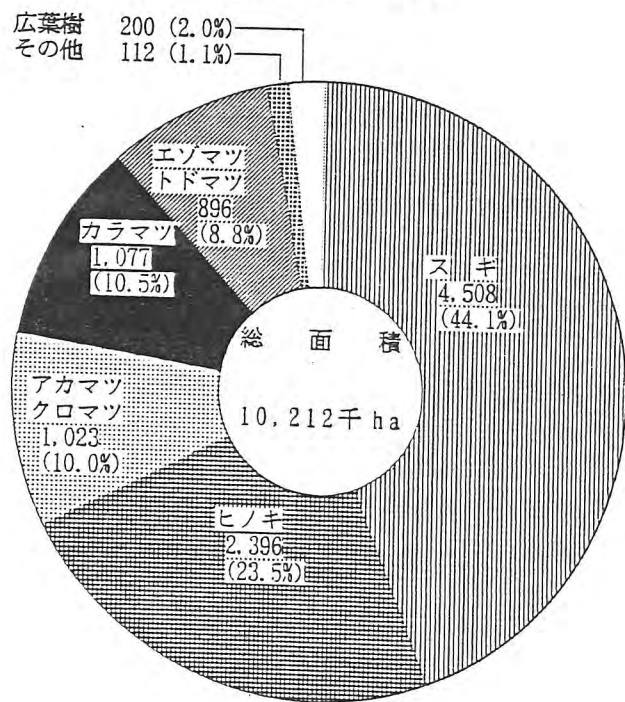
しかし全国的な統計を見ると人工林としては10%のみしか植栽されていない。

青森営林局でのカラマツ林は約9万ha、蓄積約730万 m^3 である、そのうち岩手県内には約6万8千ha、蓄積約550万 m^3 で当営林局カラマツ蓄積の75%を占めている。

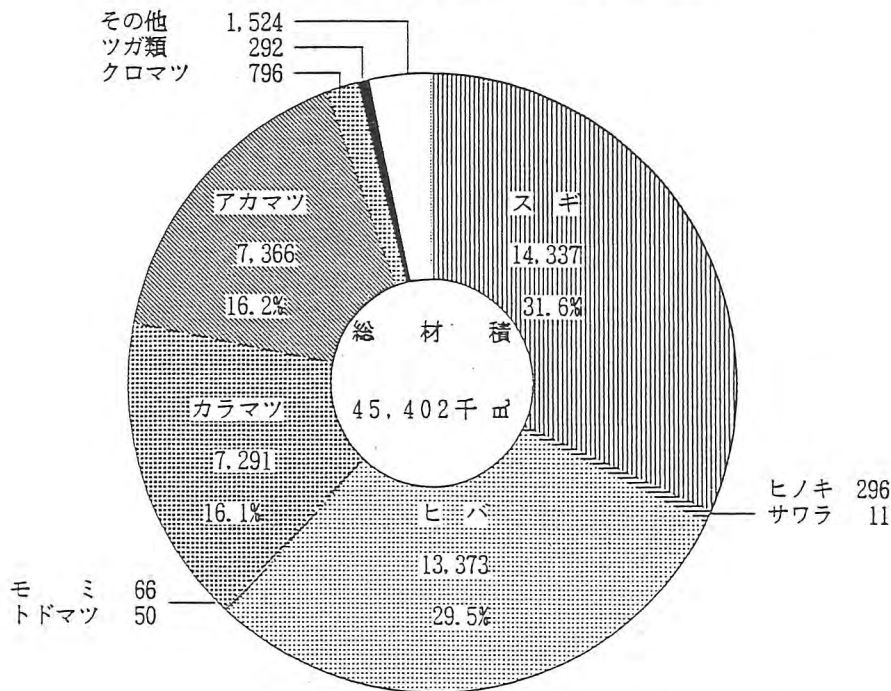
2 カラマツの特質

この木の特質として、1、活着率が良い、2、東北に適している、3、短期間で長・大径材生産を期待できる、4、朽れがたく強靱である、5、約40年生位で材のヨレも少なくなる、6、比較的安価で流通できる、という利点があげられる。

日本の樹種別人工林面積 (単位: 千ha)



青森営林局 針葉樹別 材積蓄積量 (単位:千 m^3)



平成4年4月1日現在

青森営林局管内	カラマツ林	約90,000ha	蓄積 730万 m^3
岩手県内国有林	"	約68,000ha	蓄積 550万 m^3

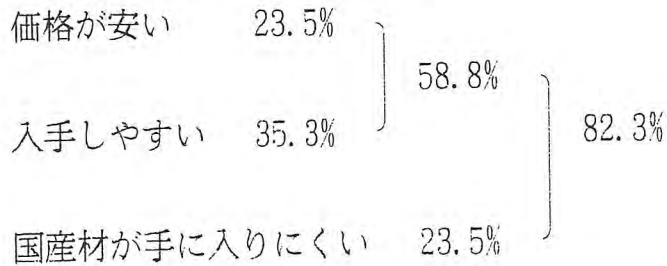
3 現状と将来の予測

- 1) 現在、青森営林局の針葉樹蓄積の1位はヒノキで約1,300万 m^3 であるが、カラマツは将来蓄積約1,800万 m^3 を期待できること。
- 2) 近年主伐と間伐の伐採量が逆転するであろうこと。
- 3) 1番多い30年生前後のカラマツが利用間伐期を迎えていること。

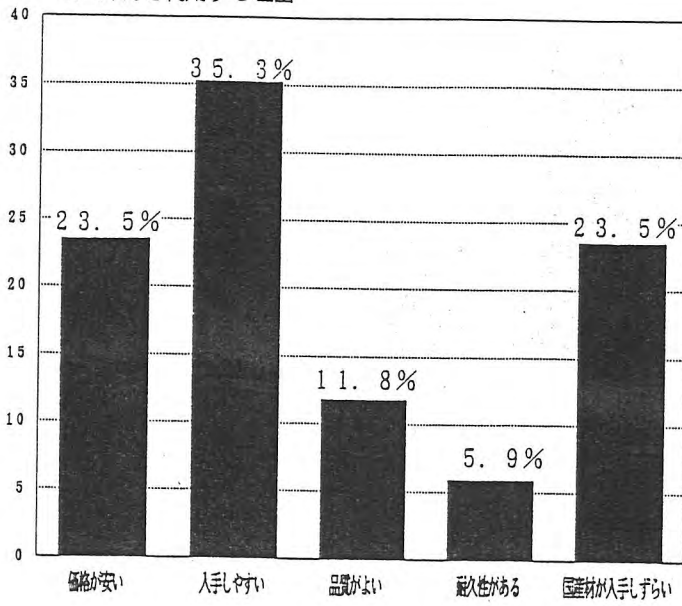
4 買い手市場の動向

我が署で行った建築業者へのアンケート結果は次の通りである。

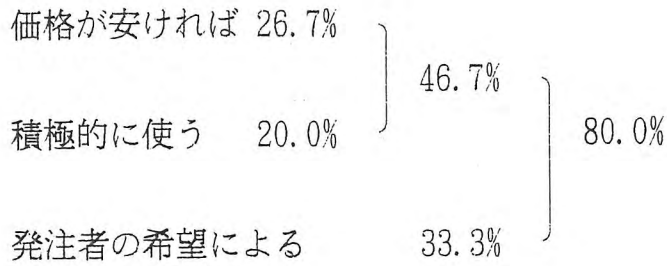
<外材を使用する理由>



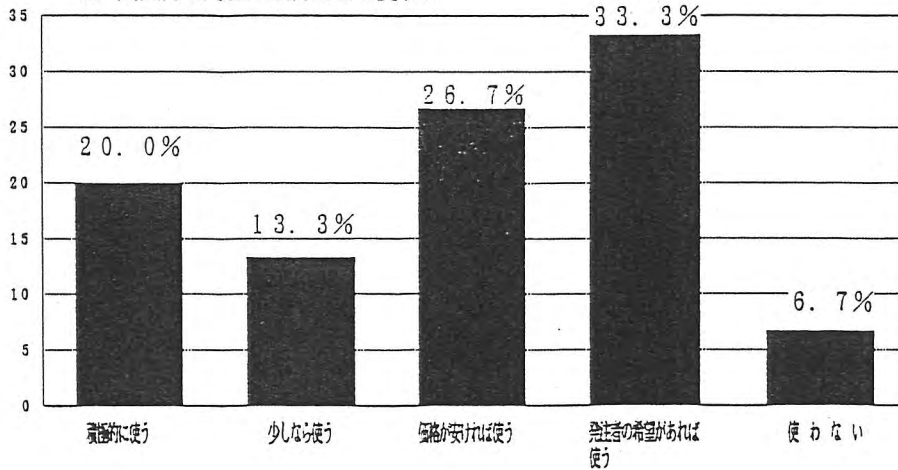
2. 外材を利用する理由



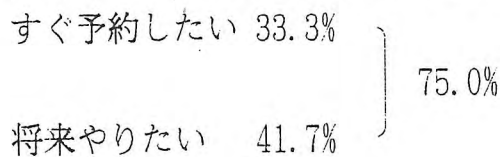
<間伐材を利用するか>

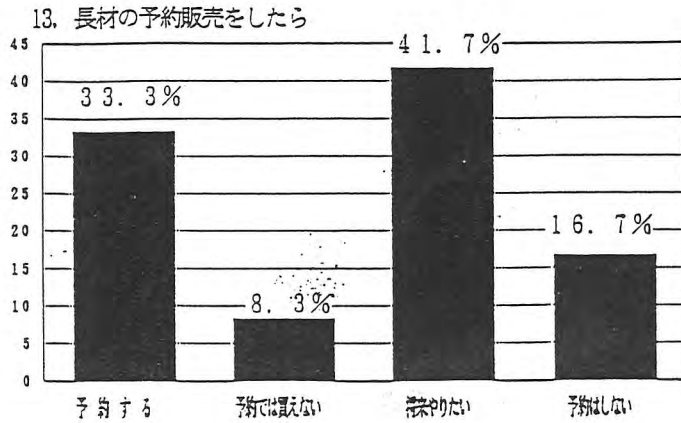


9. 間伐材を内装や壁材として使うか



<国有林での予約販売するとしたら応じるか>





希望する長材

末口 (cm)	20	20	20	30	35	18	20
長さ (尺)	19	15	16	25	30	15	20

<要望としては>

- 1, 小口でも良いから年に1回工務店に売れないか
- 2, 国有林材をどこで手に入れたらよいか詳しく教えてほしい
- 3, 広葉樹材が欲しいが手に入らない
- 4, 外材は電話1本で手に入る

ちなみにこれから使用したい国産材は>

- 1, 青森ヒバ
- 2, スギ
- 3, クリ
- 4, ヒノキ
- 5, アカマツ
- 6, ケヤキ
- 7, エンジュ
- 8, 秋田スギ
- 9, センノキ

このアンケートから考察するに

- 1, 安価であること
- 2, 入手しやすいこと (安定供給)
- 3, 針広同時に必要としている
- 4, 小口販売を希望している
- 5, 特殊材 (ヤク物) も希望している

6. これから使用したい国産材

順位	樹種	件数	ポイント	計	%
1位	青森ヒバ	10	27	37	22.0
2 "	スギ	7	25	32	18.9
3 "	クリ	9	10	19	17.2
4 "	ヒノキ	6	15	21	12.4
5 "	アカマツ	6	13	19	11.2
6 "	ケヤキ	5	7	12	7.1
7 "	エンジュ	4	6	10	5.9
8 "	秋田スギ	2	5	7	4.1
9 "	センノキ	1	1	2	1.2
計		50	109	159	100.0

5 需要の動向

1) 合板用

岩手県合板事業協同組合、宮古工場は月産8,000 m³の素材を使用、主に外材を使用しているが平成5年より月千m³の国内産カラマツを使用（長1.95m 径18cm上 価格m³/14,400円）、平成6年3月頃より径14cm上（m³/12,600円）も引き受ける、合わせて月産2千m³の国内産カラマツ、アカマツを納入可能とするが、同工場としては安定供給を望んでいるところである。

2) 集成材

全国的に上げ調子で外材大径材の高値傾向から大断面集成材が今後伸びそう、また柱材、板材も上げ調子である、原木はカラマツのラミナが価格や強度の面から多用されてきている。

3) 一般建築材

大都市中心に節のある天然木目が好まれ、ログハウス、ヨーロッパ風ウッド調はリゾート地中心に伸びそう。

安価、通直、耐久性からカラマツが良いと考えられる。

4) 樹脂注入材

新日鉄釜石の樹脂注入改質材カラマツ土台が住宅金融公庫に認定されれば米ツガに替り需要に弾みがつきそう、また燃えない木材などの生産もカラマツは可能性大である。

5) その他

バクテリア養土、畜産、土壌改良用、環境保護用などカラマツの木炭も使用可能である。

また、きのこ用ほだ木材として種類は限られてくるが使用可能である。

成分抽出用原料としてカラマツはアラビノガラクトンという物質が多く含まれると言われている。(食品添加剤用)

6 供給対策

カラマツは「大を抜いても代は育つ」と言われる、これまで小径木中心だった収穫調査を需要に応じた選木に変えることができるのはカラマツではないか。

また全般の樹種も含め安定的供給対策には木材情報システムの充実や制度的実施策として昭和52年～平成3年まで15年間実施された間伐促進特別対策事業などを現実に即したものと実施することも考慮されなければならないと考えられる。

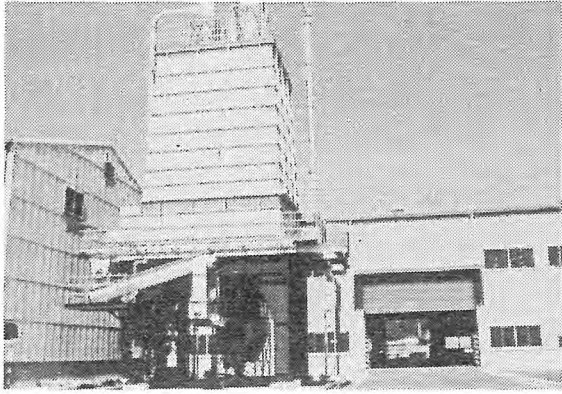
7 おわりに

世界の環境問題が外材価格を押し上げる中、日本の森林の40%を占める人工林の活用は木材界はもとより自然林の保護や地域の振興にも寄与する、継続的な資源を作るため「生みの苦しみ」の中にある国有林は良い森林造りと間伐材利用、これがすべての苦しみから脱する道と考察する。

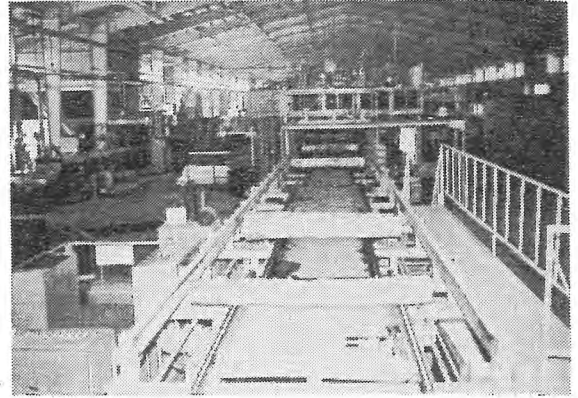
スライド (写真) 説明

- 写真の 1 ~ 2 岩手合板事業協同組合
宮古工場
- // 3 大断面集成材によるデイン
バードーム
- // 4 同 デインバードーム
瀬戸大橋博, イベントプラザ
- // 5 スポーツバンクフレックス
大断面集成材
- // 6 ~ 7 岩泉町二升石小学校
岩泉営林署産カラマツ材大
断面集成材及び板材
- // 8 ~ 9 ヨーロッパにおけるウッド
ハウスの主流
- // 10 遠野市 半丸太材加工場
- // 11 ~ 12 遠野市 カラマツプレカット
工場
- // 13 ~ 16 カラマツ間伐材利用ウッド
ハウス葉枯らし材
- // 17 ~ 18 新日鉄釜石改質木材加工
センター
- // 19 大野村 北部産業
木炭による土壌改良剤・
家畜用・環境用生産工場
- // 20 ~ 21 キノコ植菌実験

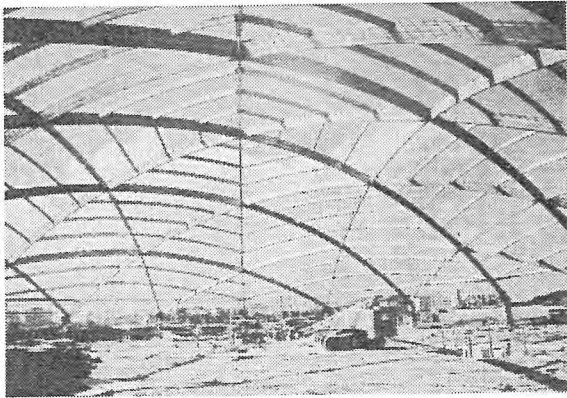
1



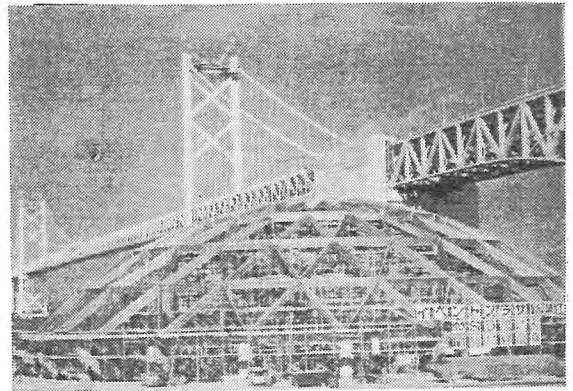
2



3



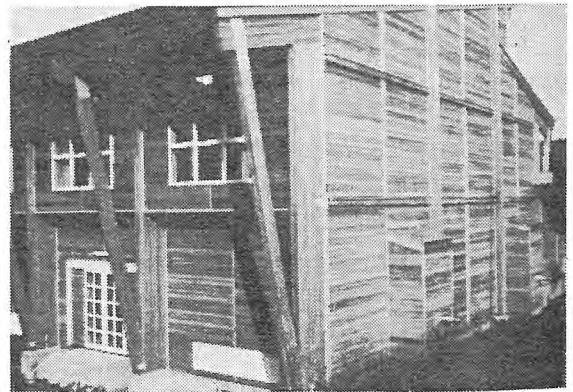
4



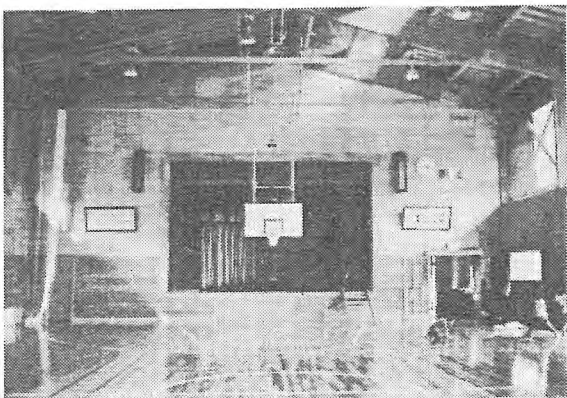
5



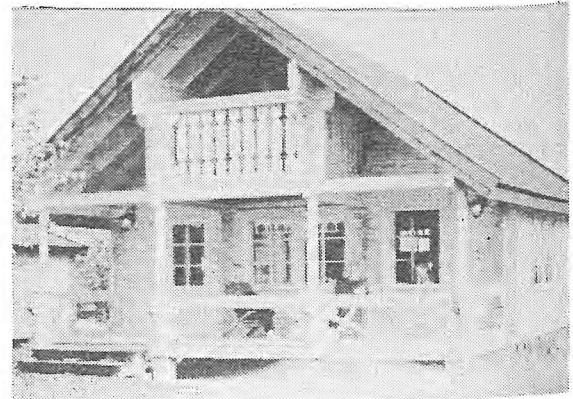
6



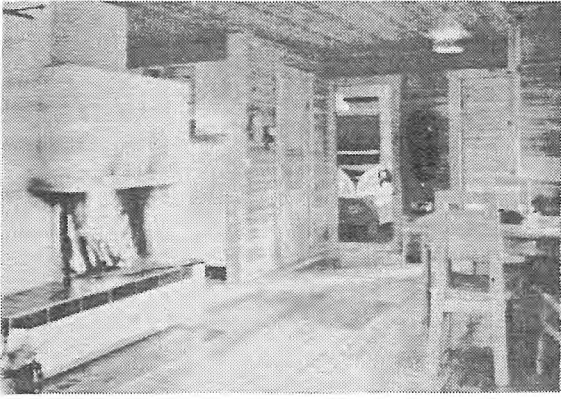
7



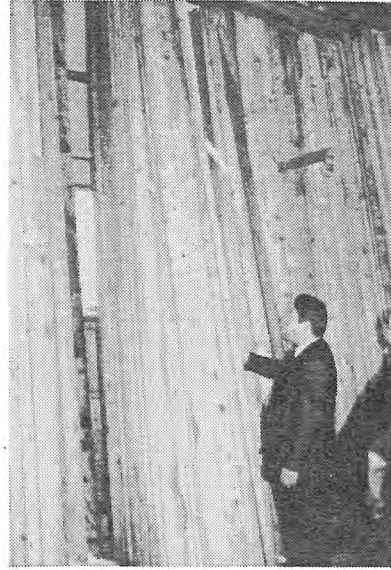
8



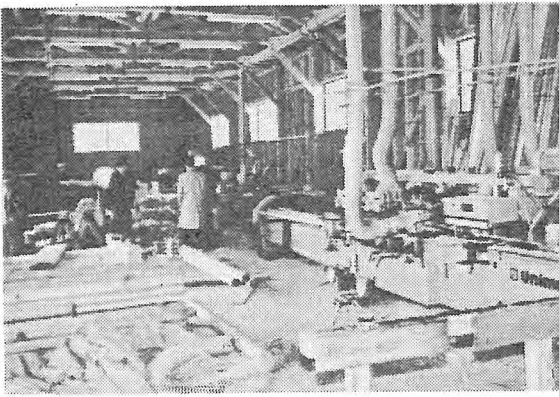
9



10



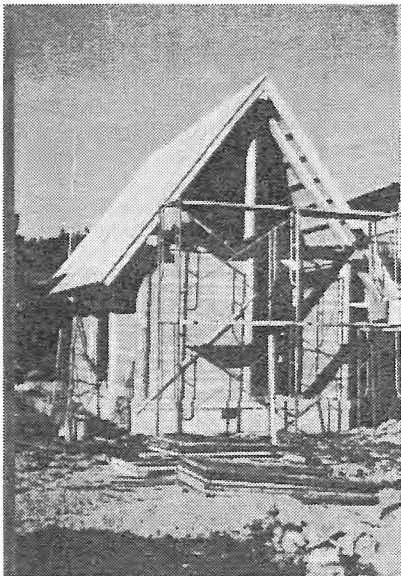
11



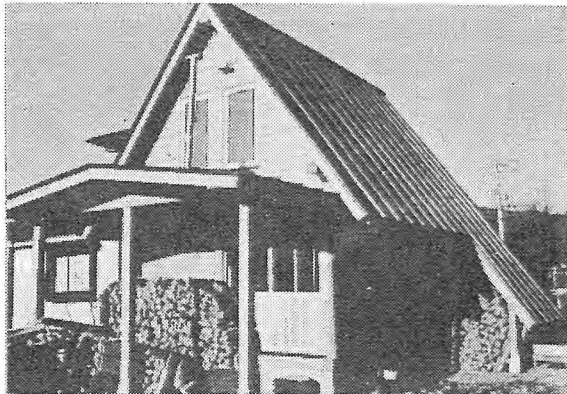
12



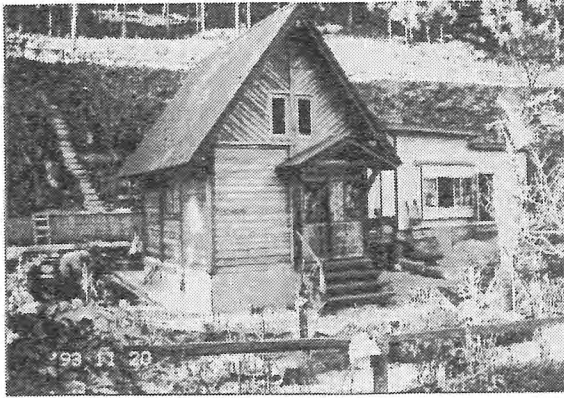
13



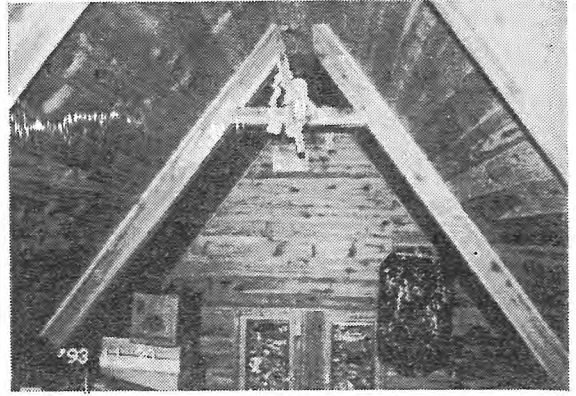
14



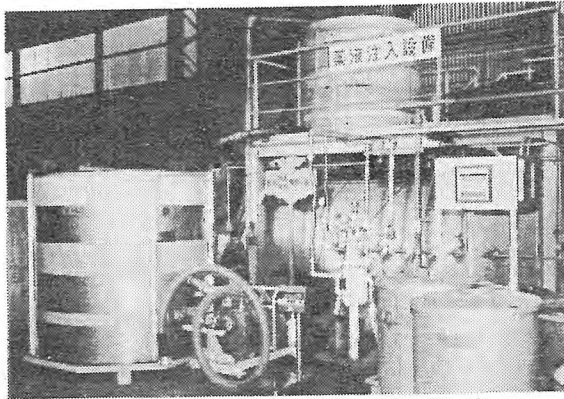
15



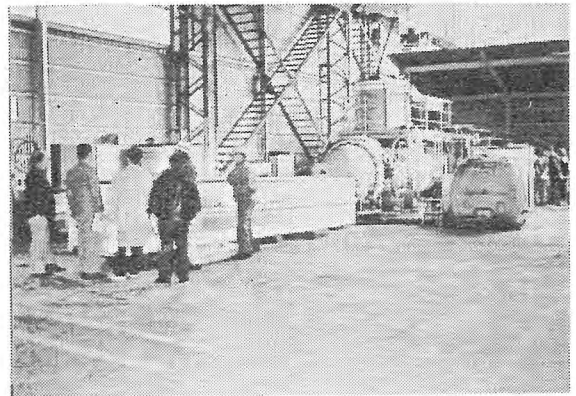
16



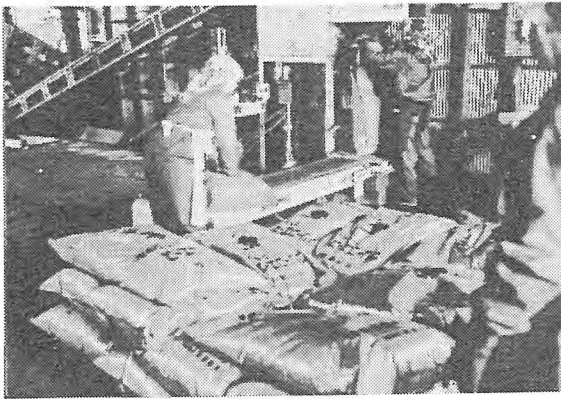
17



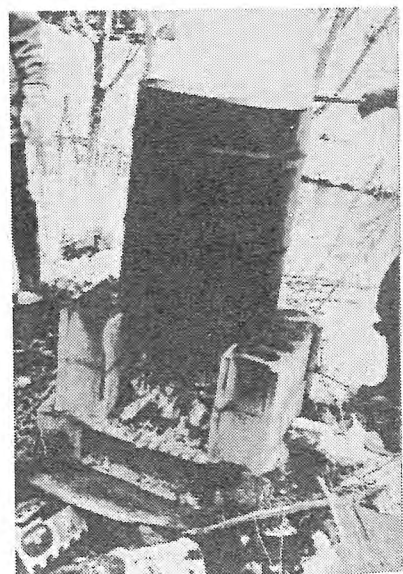
18



19



21



20

